～宮大生のための交換留学～

アメリカ・エヴァーグリーン州立大学留学報告

教育文化学部　中学校教育課程英語専攻　3 年　（小池裕也）

〇留学先:アメリカ合衆国・エヴァーグリーン州立大学

〇留学期間:2015 年 9 月～2016 年 6 月
（秋学期 9 月下旬～12 月、冬学期 1 月～3 月上旬、春学期 3 月下旬～6 月上旬）

〇渡航時の学年:　　**3** 年次

〇渡日前の手続について
・留学に至った経緯について:
私は初めは 4 年次で留学をしようと決めていたんですが、教員採用試験のことなどを考慮したら 3 年次で留学するのがベストだと思い 3 年次で留学をしました。そして、留学をしようと思った理由は大きく 2 つあります。1 つ目は、将来英語の教員になる際に必要な英語力の向上です。日本ではどうしても英語で話す機会というのが少ないので実際に英語圏で暮らすことで英語を毎日使わざるを得ない状況に自分を追い込み英語力を上げたいと思いました。2 つ目は大学に入学してから、学校の先生になりたいと強くは思ってはいたのですが、何となく授業に参加して、何となくバイトをしてというそのような何となく大学生活を過ごしている自分が嫌で、何かに挑戦し、変化が欲しいと思ったからです。だから留学をするという目標を立て、必死に勉強しようと決意しました。

・大学での手続について:
TOEFL を受験し、留学するために必要な点数のノルマを越えることが留学するための第一条件です。奨学金(賃与型)は合計で 4 年間しかもらえないのですが、私は交換留学の1年を含めて宮崎大学に計 5 年間在学する予定でした。つまり、1年間は奨学金なしで大学生活を送ることになります。そこで 2 つの選択肢がありました。1 つ目は、留学中は奨学金を一時停止する。2 つ目は留学中も奨学金を受給し続ける。私は後者のほうを選びました。というのは、留学中のほうが宮崎大学の 5 年目よりもお金がかかるからです。

・査証取得:
ビザに関してですが、手元に必要な書類が留学先の大学から送られてきて整い次第速やかに取ることをお勧めします。ビザを取る手順や必要な書類は大使館のホームページに記載してあるのでそちらのほうを参考してください。ビザを取得するためには実際に大使館に行かなければならないなど、本当に面倒なので、余裕をもって申請することを強くおすすめします。
私の場合は、9月に渡航で6月の下旬に手元に必要な書類が届いたので7月の中旬にビザを取得しました。

〇留学体験記:
★生活費:
渡航費:20 万円
寮:合計 29 万円
食費:月 3 万円

★寮の環境:
ルームメイトは自分を含め 4 人または 6 人で、一人一部屋自分の部屋と共有スペースがありま

す。
部屋：机、イス、タンス、引き出し、ベッド(マットレス付)、ハンガーかけ、棚
共有スペース:キッチン(オーブン付)、冷蔵庫、リビングにソファー・テーブル・イス、トイレ、お風呂
（バスタブ付）
※トイレとお風呂は別。シャワー・トイレは問題なく使える。電子レンジはないので、自分で買うか、ルームメイトが持っていたら借りることになります。しかし、寮の近くに HCC という売店やラウンドリーがある場所があり、そこに電子レンジがあるのでそれを使うことも可能です。洗濯もここで行います(洗濯・乾燥で＄2. 25)。
寮の環境は特に問題はないと思います。

★大学のサポート状況：
留学生のお世話をしてくれる事務所の方々は相談したときなどは親身になって相談に乗ってくれます。何かトラブルがあれば、すぐに対応をしてくれます。例えば、大学に収めるお金の額が違う、どの授業をとればよいのか、などなど様々なことに相談に乗ってくれます。
寮でのトラブル(エアコンが壊れた等)の対応は、RAD と呼ばれる学生組織があり、その方たちがすぐに対応してくれます。私の部屋のエアコンが壊れたときも、連絡したその日に駆けつけてくれました。

★授業の様子：
授業は、宮崎大学の授業とは全くといっていいほど異なります。授業までに予習(大体がリーディング課題)をし、そのことに関しての講義を午前中に受け、午後からディスカッションをします。その他には、様々なワークショップが行われます。例えば、フィールドトリップに行ったり、マスクを作ったりと楽しいものばかりです。しかし、先述したとおり、予習課題があります。この課題は正直なところとてもきついです。週によって量は異なりますが、平均 100p～200pの量を読みます。そして、私が受講していた授業はテストが無く、2 つのエッセイを書くことが求められました。そして、この大学には Evaluation Week という週が学期の最後の週にあり、そのときに授業の先生と面談をし、評価をつけてもらいます。

★他の留学生たちの様子：
中国、韓国、スイス、ドイツ、メキシコから来ていました。彼らの英語力は非常に高いです。彼らのほとんどが以前にもアメリカに住んでいたり、アメリカの大学に通っていたりという経験を持っているため、英語力は高いです。私は、彼らと授業が違うため、ほとんど関わりがないです。

★現地学生との交流：
現地の学生は非常に優しいです。何かイベント事があれば、誘ってくれたりしてくれます。私はアジア系の授業を取っているため、アジアに関して興味が高く、日本にも興味があるひとが多いため、積極的に話しかけてくれます。クラスにも中のいい人がたくさんでき、困っていたりすると助けてくれます。授業によっては、授業以外ではほとんど関わりがないということも生じるみたいです。

★街の様子：
15 分ごとにダウンタウンに行くバスが出ています。ダウンタウンまでは、約 25 分ぐらいです。買い物などは、ダウンタウンに行かなくても、ダウンタウンに行く途中で下車すればショッピングセンターなどがありますので、そこで済ますことができます。バスで約 15 分くらいです。

★その他：
オリンピアのバスに乗るときは、エヴァーグリーン大学の学生証を見せれば無料で乗ることが出来ます。
シアトルへは、バスで約 3 時間かかります。このバスでは、学生証が有効ではないので、＄3.5～6.5 です。

日本のアニメ、漫画は自分が想像していたよりも本当に人気なので、現地の学生と仲良くなる一つの手段として今流行りの漫画やアニメを見ることをお勧めします。

★留学中の経験・学んだことなど

私は本当に交換留学をしたことをよかったと思っています。留学することで英語力のみならず人間的にも成長できたと思っています。やはり英語のみで生活をしたり、授業を受けたり、課題をしたりするのはきついです。正直に言うと自分の想像よりもはるかにきつかったです。何よりも予習の量が日本の大学よりも圧倒的に多いです。週に本を1冊読むということもありました。しかし、嘆いていても仕方のないことだし、自分で選んでアメリカに来たのだから頑張ろうって思って毎日毎日予習や課題に追われていました。そのおかげで辛くても頑張ろうと思えるようになりました。忍耐力がついたのかなと思います。また、人とコミュニケーションを取る能力も向上したと思います。アメリカ人は初対面の人であっても、とてもフレンドリーに話しかけてくれます。そのような状況に毎日出くわしていると自分もそんな風になっていき、初対面の人であっても以前より人見知りをすることなく話しかけることができるようになりました。さらにアメリカ人と話すと、日本のことについての質問をたくさんされました。質問をされても答えられずに改めて自分の国に対する自分の無知さを感じ、それ以来日本のことについてもっと知ろうと思い、日本の良い点や悪い点などを学ぶことができました。留学したことによって日本について以前よりももっと考えることができるようになったと思います。最後に、この約1年間アメリカの大学で授業を受け、単位を取り、卒業をしたという事実は私にとってとても自信になりました。この経験を持つ私は、これから先様々なことに積極的に取り組んでいけると思います。

〇帰国後について

・派遣先で単位を取得しましたか？（ した ・ しなかった ）

・派遣先で取得した単位は宮崎大学で認定されましたか？（ された ・ されなかった ）

※これから申請される方は審査終了後、報告してください。）

〇今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

留学を考えている皆さん、自分の英語力で本当に TOEFL のスコアを取れるのだろうか、本当にアメリカで暮らしていけるのだろうか、本当にアメリカの大学で勉強についていけるのだろうかとか色々不安なことはあると思います。しかし、そのようなことを考えていても何も意味はありません。TOEFL のスコアは勉強をすれば確実に取れるし、アメリカでの生活は周りの人がサポートしてくれるし、大学での授業はクラスメイトや教授が親身になって助けてくれるので何の心配もいりません。もちろん留学することは決して楽なことではありません。正直とてもきついです。しかし、それ以上に得るものはあります。ですから、まずは何かを始めてみてください。TOEFL の勉強を始めたり、TOEIC の勉強を始めたり、英検の勉強を始めたり、なんでもいいです！最終的には TOEFL の点数が必要になるんですけど、すべての勉強がきっと TOEFL につながるのでまずは何かを始めてほしいと思います。きついとは思いますが、頑張ってください！応援しています。

Nikon
Nikon

永
永
永
永
永
永
永
永
永
MIZUNO

Dictionary
La Bendición de los Animales
2015
PASQUAL'S